



公務員の技術職として、まち全体をデザインする仕事をしてみたい!

センスのいいキャンパスに「ここなら信頼できる!」

私が在籍する都市環境工学科(現:建築都市環境学科)では、社会インフラや都市再生、景観デザインなどの領域が学べます。建物そのものより、まち全体をデザインする分野に魅力を感じて、この分野を選択しました。

もともと父が土木関係の仕事をしていたこともあり、まちづくりには興味がありました。このテーマを学ぶ場として、千葉工業大学を選んだのは、オープンキャンパスで津田沼キャンパスを訪れた際に、建物や周辺の空間がとてもきれいで、センスを感じたから。「ここなら信頼できそう」と思ったのが決め手になりました。

白地図をマーキングするとまちの課題が見えてくる

現在、力を入れている授業では、5~6人づ

グループで課題に取り組み、毎回発表をしています。私たちが取り組んでいるテーマは「浦安の新町地域を活性化させる計画」。千葉県内の実在するエリアを舞台に、どうすれば地域住民の交流を活性化できるかを考えます。作業は地図を使ったまち全体の把握から始まります。浦安エリアの白地図に学校、公民館、病院などカテゴリごとに施設を色づけしていきます。すると公共サービスが極端に受けにくいエリアがあるなどの問題点が見えてくるのです。何時間もかけてマーキングする作業はたいへんですが、まち全体を俯瞰的に把握する視点が身につきますね。

将来は、公務員の技術職をめざしています。自分のアイデアをまちづくりに反映させるには、行政の立場から地域の全体像を描くような仕事をする道をめざすべきだと考えたのです。将来の夢は、公園など公共スペースづくりに携わること。老若男女に楽しんでもらえる「場」をつくりたいと思っています。

創造工学部

都市環境工学科 3年
(現:工学部 建築都市環境学科)

北村 優佳さん

KITAMURA Yuka
(千葉県立薬園台高等学校出身)



20歳の誕生日に、弓道部のメンバーがプレゼントしてくれた時計。大切な宝物です!

ひとこと

大学では、弓道部に所属しています。平日は、毎日練習できる環境があり、私は週3ペースで練習場に通っています。大学入学後、経験ゼロから始めたのですが、3年生になった今年は関東大会の予選通過を実現。勉強も部活も充実しています。部活動は、他学科の女子学生と友達になるきっかけにもなるので、ぜひ参加すべきです!

